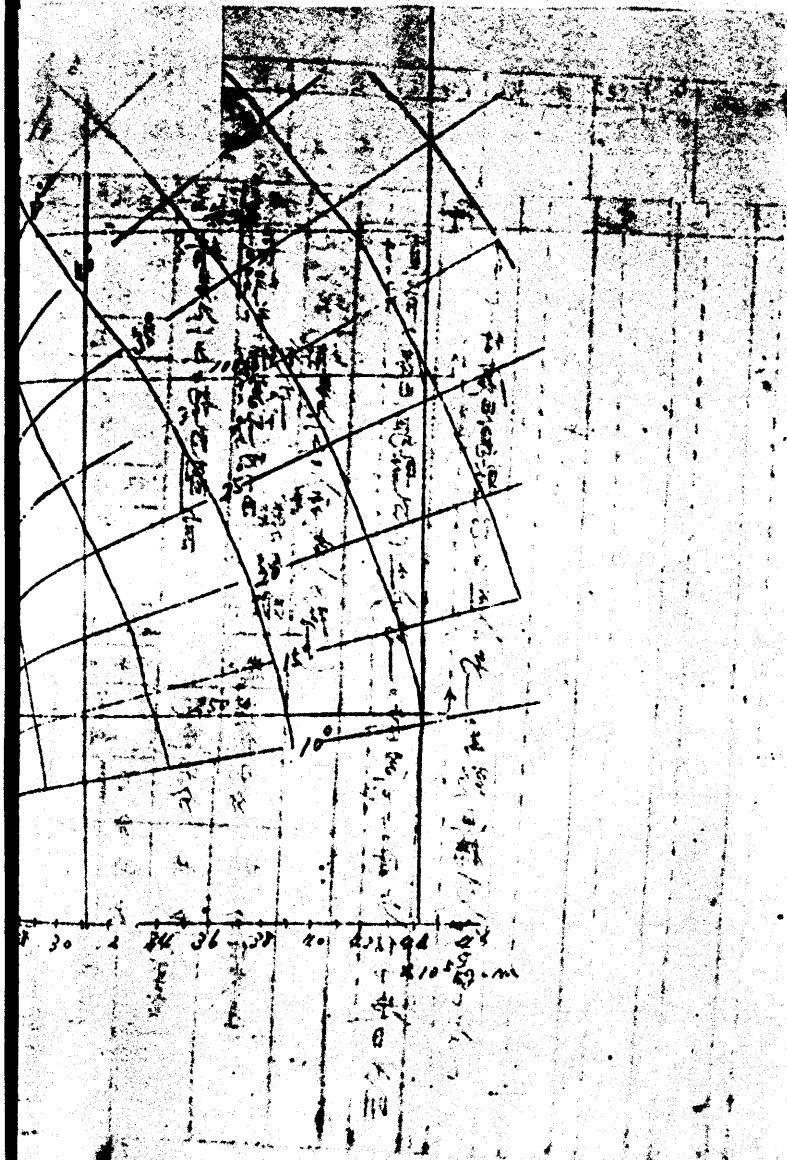


<p>姓名 戰以死者生元明有南三件 一部</p>	<p>右正受領候也 昭和二年六月一日 受領者官以名山河下 在現島縣川辺郡萬世町 万世郡役所付 万世第九一五部隊中</p>
--	---

<p>姓名 戰以死者生元明有南三件 一部</p>	<p>右正受領候也 昭和二年七月六日 受領者官以名山河下 在現島縣川辺郡萬世町 万世郡役所付 万世第九一五部隊中</p>
--	---



秘

第六艦隊司令部
飛空隊平表四號

生死不明者死亡確認之件報告

雁行第六大隊隊長

照得第六艦隊司令部
第六航空軍司令部官殿

昭和二十年六月十五日沖繩附近敵艦船攻撃に於て生死不明ト爲ル者係レ首題ノ件昭和二十年陸軍密第九三號ノ據、別紙通シ死亡確認シ付報告ス

左記

陸軍伍長 服部 博

官	殿

八天

<p>生死不明者死亡確認書 一冊 陸軍省 昭和二十一年六月九日</p>	<p>件</p>	<p>右正三受領候也 昭和二十一年六月九日 受領部隊番号 陸軍省 昭和二十一年六月九日 受領者官名 山崎 博正</p>	<p>鹿兒島縣川辺郡萬世町 新田部 第九一五〇部隊 中</p>
---	----------	---	-------------------------------------

<p>生死不明者死亡確認書 一冊 陸軍省 昭和二十一年六月九日</p>	<p>件</p>	<p>右正三受領候也 昭和二十一年六月九日 受領部隊番号 陸軍省 昭和二十一年六月九日 受領者官名 山崎 博正</p>	<p>鹿兒島縣川辺郡萬世町 新田部 第九一五〇部隊 中</p>
---	----------	---	-------------------------------------

秘

生死不明者死之確認書

飛行第六大隊隊長 飛田 清

一 生死不明者 昭和四年四月一日

日時 昭和四年四月一日

場所 九州南方海上

二 生死不明者 昭和四年四月一日

任務

神戶方面 敵艦隊攻撃

三 日時 場所

前記任務 基日 昭和四年四月一日 飛行第六大隊隊長 飛田 清

四 任務

前記任務 基日 昭和四年四月一日 飛行第六大隊隊長 飛田 清

五 任務

前記任務 基日 昭和四年四月一日 飛行第六大隊隊長 飛田 清

滿洲九州一帯、其國內テ、シモ黄海ニ停泊セル機動性高氣球ト、
境界ニ當リ、天候悪化シ、重量シロニシテ、前線露降生シテ、

通信

無線機ニ故障シ、リテ、航空通信ニ當リ、受信ノ感度、ニシテ、モ、後、モ、
認めズ

其他

周折難産ニシ、山崎大尉以下三機、及、杉谷編隊ノ、足立伍長ハ、天候不良
ノ為、直ニ着陸セリ

三機ノ、ソ、ル、搜索手段

着陸飛行場タル宮古島徳島、到着シ、アラザレ、模様ニ就キ、關係各
機ニ連絡搜索ヲ依頼セシモ、消息不明ナリ

四、死ニ確認ノ理由

四月十七日十三時、和歌山縣西牟婁郡、潮岬村、海上野上浦海岸、於テ、死
體、発見セル旨、和歌山憲兵隊長、東部軍管區留守部長、通シ、通

極秘

報ラ、度ク、死體ハ、両手両足、大、早ニ、開キ、水渡トナリ、陸軍伍長階級章
附飛行服履面、右足ニ、飛行用長靴ヲ穿キタル儘、俯伏トナリ、全身浮
腫、然ラ、呈シ、顔面脱輪、皮膚腐、ド、利、難ニ、死後約ニ週、時、経過ス
死體ハ、四圍、九州沖合方面ニ、潮岬海岸ニ、漂着、千、潮、岩、惣上ニ、取、送、ケ、レ、タ、レ
モ、ト、思、料、セ、ラ、ル、其、後、遺、留、品、付、細、密、調、査、結、果、小、紙、片、記、載、シ、ア
リ、タ、レ、地、名、ニ、依、リ、三、重、縣、鈴、屋、市、南、若、松、町、一、三、六、番、地、給、底、中、長、鬼、野、會
セル、處、同、答、アリ、タ、ル、以、テ、和、歌、山、地、區、憲、兵、隊、長、留、守、権、任、部、隊、連、絡
シ、其、旨、通、達、ア、リ、タ、リ、右、軍、田、伍、長、部、伍、長、ナ、ル、事、確、定、ス、シ、テ、
戦死マレセト、確認ス

昭和三年六月一日 飛行第六大隊隊長 森田 健 行

秘 寫

陸軍航空下士官一變死体ニ付

所在不明ニ関スル件報告「通牒」(四) 陸軍航空本部(三) 陸軍航空本部(三) 陸軍航空本部(三)

昭和二十年五月四日

和歌山地区憲兵隊長

陸軍航空本部長殿

飛行第六十六戰隊

陸軍任長 服部 博

右者ニ對シ所屬部隊調査セルモ既報、如ク管内ニ該當ナク
其後遺留品ニ付細密調査、結果小紙片ニ記載ニテリタル地名
(三重縣鈴鹿市南若松町一三六番地)ニ依リ、鈴鹿市市長宛
照會セル處、別紙寫、如ク回答アリタルヲ以テ同隊留守担
任部隊ニ通報相成度報告「通牒」ス

左記

一 所屬

北島飛遣成第九五〇部隊齊藤隊

二本籍地

送先

中憲司令官陸軍航空本部長

(了)

書

林

中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第一 (15)

1. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第一 (15)

2. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第二 (16)

3. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第三 (17)

4. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第四 (18)

5. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第五 (19)

6. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第六 (20)

7. 中野 隆雄 先生 遺稿 第一 目録 第七 (21)

別紙

「返電文」

ハットリヒロシノシヨクブタイヒタウハケン 威第九

一五〇フタイサイトウタイ スズカシ子ヨ

陸軍

極秘

寫

陸軍航空下士官へ變死体漂着

二関スル件報告「通牒」

昭和十年四月二十日

和歌山地巴憲兵隊長

飛行師團長殿

四月十七日和歌山縣西牟婁郡潮岬村海岸に陸軍航空下士官一變死体漂着セルヲ以テ檢視セルニ犯罪ニ依ルモノニ非サル事明白ナルモ所屬部隊所在地等不明ナルヲ以テ假埋葬ニ附シ目下所屬部隊調査中ナリ
状況左記報告「通牒」ス

左記

一 變死者所屬官等姓名

所屬 鷲九一五〇部隊(本人所有下士官兵公務運賃別)

引證記載部隊名)

陸軍 伍長

服部 博

(推定年令三二年)

二發射日時場所

1. 日時 昭和三年四月十三日 午後十二時頃

2. 場所 和歌山縣西牟婁郡潮岬村字上野上浦海岸

岸

(別紙第一要圖参照)

三變死状態概略

四月七日午後一時頃、和歌山縣西牟婁郡潮岬村海岸に陸軍航空隊第一飛行隊の機三機が飛来し、潮岬村役場ヨリ一急報ニ接シ、下士官一ヲ現場ニ派遣檢視ヲナスニ死体ハ和歌山縣西牟婁郡潮岬村字上野上浦海岸波打際岩礁上ニ兩手兩足を大ノ字ニ開キ水浸トナリ陸軍任長階級ニ準附着飛行服覆面並右足ニ飛行用長靴ヲ穿キタル位俯伏トナリ全身浮腫狀ヲ呈シ顔面軀幹ノ皮膚殆ど剥離ニ死後十日内外ヲ経過セルモノト推定セラルモノト他殺トナ

容疑ノ點ヲ記ス

而シテ同海岸附近ニ本死体ニ關連アリト思科セラル特異ナル事象ナキ潮流ハ南方ヨリ四圍空戸岬ヲ経テ和歌山縣同參見海岸ニ流突南下七時速約四節ノ黒潮ノ支流流レアル點等ヨリ死体ハ四圍九州沖合方面ヨリ潮流ニ乗テ潮岬海岸ニ漂着チ潮時岩礁上ニ取扱サレタルモノト思科セラル

四原因ト認ムルニ要ス

直接ノ死因ト認ムルニキモノナキモ体表及腹部等ノ變化ハ總テ死後ノモノト推定セラレ他殺ノ疑ナキヲ以テ飛行中ノ事故ニ依リ海中ニ墜落溺死セルモノナリト思科ス

五檢視(檢証)官署

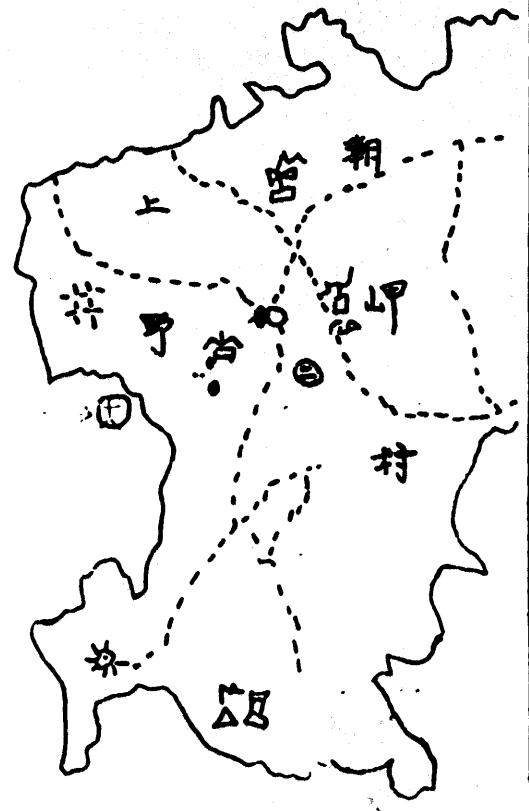
忠本憲兵分隊

六發見者ノ住所職業氏名

農業 中西ギン

寫

野村



死体評定場所

七鬼兵之處置

當 六十三年

状況鋭上、如ク鬼兵下官一ヲ派遣軍医五會ノ下ニ檢視
 結果犯罪ニ因ルモノニ非ナルモノナリト判斷セラル、モ變死者、
 所屬部隊所在地不明ナル為不取敢死体ヲ和歌山縣西牟
 婁郡朝野村墓地ニ假埋葬スルト共ニ所屬部隊ヲ調査
 中ニモ未判明ナリ

(了)

報光通隊光

中野隊司令官



正徳六年八月廿二日

戰時死者有什通保

正徳行第六十七戰隊長

東前軍領事胡長殿

戰時死者有報告規定第三條、據、正徳六年八月廿二日、東前軍領事胡長殿、
日附、以戰死確認セリ、以通保又

左記

一、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

二、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

三、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

四、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

五、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

六、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

七、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

八、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

九、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

十、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

十一、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

十二、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

十三、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

十四、正徳六年八月廿二日、今日義孝、初瀬軍方約。行海面附近。於敵艦船。休吉、攻撃、依、自
爆戦死セリト認定又

カマエスレ...

清泰二五部改

...

...

...

...

...

...

打

...

...

...

...

左記

...





46

極秘

本大氣軍司令部

昭和三十九年七月五日

陸軍大臣殿

昭和三十九年五月四日津浦線馬場町行場前敵艦船攻撃に於ては死不明
トナル左記者一係ト首題ト死亡認定相成度昭和三十九年陸軍省
第一九三號第一條ニ據リ別紙認定書相添ヘ伺フ

陸軍少尉 川口弘太郎

<p>66FR</p> <p>受領部 昭和三十二年七月八日</p> <p>受領者官名</p>		<p>姓名</p> <p>川口 久</p> <p>二部</p>
<p>現島川辺郡萬世町</p> <p>第一五〇部隊</p> <p>中</p>	<p>昭和三十二年七月八日</p> <p>受領部 昭和三十二年七月八日</p> <p>受領者官名</p>	<p>川口 久</p> <p>二部</p>
<p>町世町</p> <p>隊中</p>	<p>昭和三十二年七月八日</p> <p>受領部 昭和三十二年七月八日</p> <p>受領者官名</p>	<p>川口 久</p> <p>二部</p>
<p>町</p> <p>隊中</p>	<p>昭和三十二年七月八日</p> <p>受領部 昭和三十二年七月八日</p> <p>受領者官名</p>	<p>川口 久</p> <p>二部</p>

昭和三十二年七月八日

受領部 昭和三十二年七月八日

受領者官名

心 右正三受領候也 昭和二年七月八日 受領部 殿 奉 之 麻 呂 司 今 印 受領者官区名 甲	身 件 名 在元前右正三受領部 可口少尉 二印
--	--

後規島縣川辺郡萬世町
 在勤便局裏付
 西部廿九一五〇番地

傳之右正三受領部
 可口少尉
 二印

可 今印 乙 丙	可 今印 乙 丙
-------------------	-------------------

<p>姓名</p>	<p>生是子相若天亡昭皇國之件同 可之件一也</p>
<p>件</p>	<p>右正三受領候也 昭和二年七月十五日 受領者官以名昭皇國之件同 受領者官以名昭皇國之件同</p>
<p>鹿兒島縣川邊郡萬世町 下世郵便局 本部第九一五〇部隊御中</p>	

極秘

生死不明者死亡認定

飛行第六十六隊隊附陸軍少尉川口弘太郎

一、生死不明者白河機場

日時 昭和九年五月四日

場所 南西諸島海上

二、生死不明者前後状況

1. 任務 沖繩島北中飛行場前面敵艦船攻撃

2. 出發日時場所 前記任務 基五月四日 〇五三〇 鹿兒島縣川島郡

萬世飛行場、離陸

3. 通信 無線機、故障、對空、常電信 飛航中、七發傳音、

認め、

4. 氣象 南西諸島全般約、決晴、

5. 敵情 出撃全機未歸還、

6. 其他 指揮官機、

當時状況、綜合して死亡確率、

三、探知機隊手帳

探知機隊、

探知機隊、

探知機隊、

昭和九年五月四日、

藤井 康吉

秘

第六戰隊司令部給由

第六戰隊司令部一號

昭和三十九年七月一日

飛行第六十六戰隊長

陸軍大臣殿

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣殿

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

昭和三十九年六月三十日知照見
 徳島新聞 空襲 於石死不明
 トリタル友記者係レ事題 死亡認定標成
 昭和三十九年陸軍
 憲第一九三號第一條一號 刑罰規定書 何レ

高橋孫川邊郡萬世町 一五〇部隊御中	右正三受領殿也 昭和七年七月八日 受領者宮氏名	名 川邊郡萬世町 御中
	印	一五〇

日 自司令 任長 御中	川邊郡萬世町	川邊郡萬世町 御中
----------------------	--------	--------------

川邊郡萬世町 御中	川邊郡萬世町 御中	川邊郡萬世町 御中
	川邊郡萬世町 御中	川邊郡萬世町 御中

<p>名 <small>昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</small> 昭和三十二年七月二日</p>	<p>正 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</p>	<p>昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</p>
---	--	---

<p>昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</p>	<p>昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</p>	<p>昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日 昭和三十二年七月二日</p>
---	---	---

水才...

孫名	孫名... 孫名... 孫名...
孫姓	孫姓... 孫姓... 孫姓...
孫姓	孫姓... 孫姓... 孫姓...
孫姓	孫姓... 孫姓... 孫姓...
孫姓	孫姓... 孫姓... 孫姓...

秘

生死不明者死亡認定

飛行第六大隊隊附陸軍進射門田真吉

一 生死不明トナル日時場所

日時 昭和二十年五月二十八日

場所 鹿児島縣大島郡奄美大島南西約一軒海面

一 生死不明トナル前後状況

任務 知覽——徳之島間、飛行第一〇三戰隊人員空輸

二 出發日時場所 前記任務ニ基キ五月二十八日一七〇五松谷大尉指揮スル第

四番機トシテ鹿児島縣川邊郡知覽飛行場ヲ離陸ス

三 通過地 無線機ハ整備トナリ到着ニ當リ受信機ヲテリニ受信音ヲ認メス

四 氣象 全般のニ快晴ナリトモ細部不明ナリ

五 散情 各要所列島線ニ沿ヒ常時晴成シヤリ

六 其他 状況利便要圖、如クニ海中島ヲ經テ奄美大島名瀬ニ至リ變針

徳之島向、途中一八四〇奄美大島南西約一軒附近ニテ門田真吉

茶屋



三、茶屋に捜索手段

自隊・他隊に捜索其他不能ナリシテ在地各部隊・捜索方知
獲テテ消息不明ニシテ其他捜索ノ自途ナレ

昭和二年七月一日 保行第六大隊隊長 藤井 隆 言

被殺動物不測・水・高層・低下級海面・不詳着ニシテ
大尉・其ノ上ニ至ラニ同被射人・其ノ際ニシテ
状況ニ適合シテ元々七確證ヲ得テモ右ノ状況・仍リ戦死ニシテ
ノト観ム



第六飛行團司令部 第六飛行團司令部 第六飛行團司令部

生死不明者死亡認定 關元件伺

昭和貳拾年七月壹日 飛行第六大隊隊長

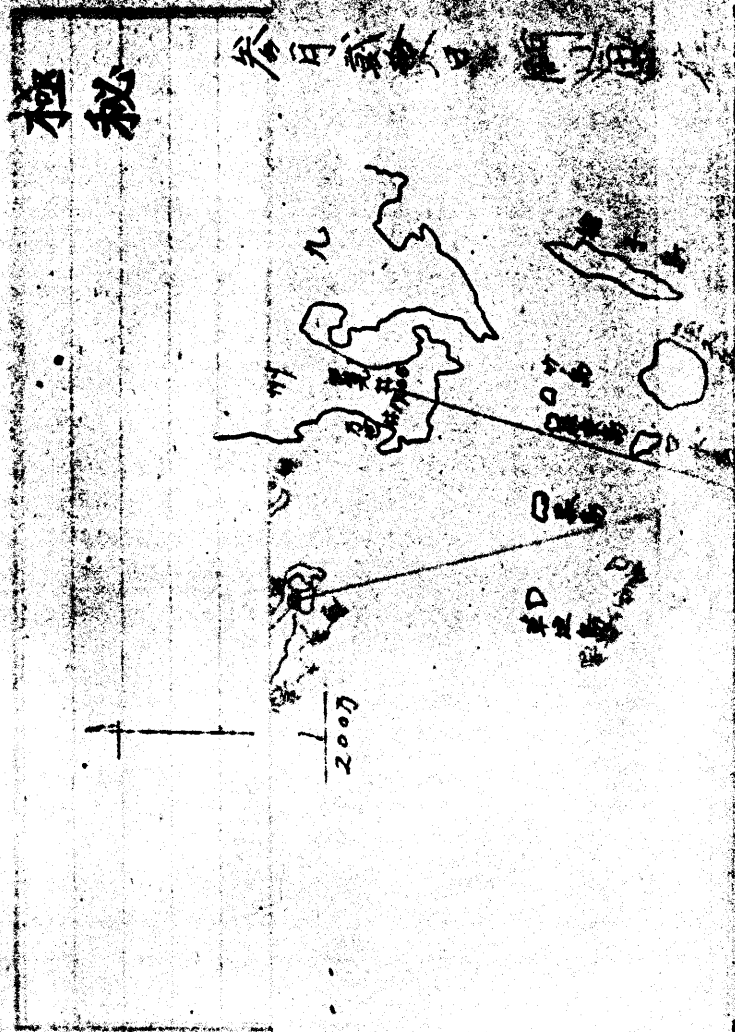
第六航空軍司令部官殿

昭和二年三月廿九日知覽——德之島間人員墜落ニ於テ
生死不明トナル左記者ニ係ル首題ノ件死亡認定檢成
度昭和二年陸軍密第一九二三號第一條ニ據リ別紙認定
書ニ相添ヘ伺ス

左記

陸軍曹長

森 平 八



極秘

第六六八番第一二號
第六艦行團司令部經山

秘

第六艦行團司令部經山

